

韓国薬学研修報告

3年 16A089

田川佳於里

《概要》

2018年8月8日～8月11日の4日間、韓国の東国大学にて韓国研修が行われた。本学から3年生6名が参加した。研修では、東国大学のソウルキャンパスや薬学部があるイルサンキャンパスの訪問や大学病院の薬剤部・門前薬局・漢方市場・漢方博物館などの見学をした。また、東国大学薬学部の学生との交流や韓国の文化体験も行った。

私は、主に韓国での文化体験（韓国観光）についてまとめた。

《日本と韓国の薬学教育の違い》

日本の薬学教育は、高校を卒業して薬学部のある大学の入試を受け、合格することによって薬学部に入学する。大学に入学後は、薬剤師の国家試験に合格するための専門的な知識を身に付けるために6年間、講義を受けたり、学内での実習や学外での実務実習を行うことになる。

しかし、韓国の薬学教育は、2+4 system が用いられている。2+4 system とは、日本のように高校を卒業してからすぐに薬学部のある大学に入学するのではなく、2年間、薬学部以外の学部がある大学に入學して、薬学部で必要とされる知識や科目（数学、化学など）を身に付けるのである。その後、薬学部のある大学に入學するための入學試験を受け、合格することによって薬学生となることができる。ここで、韓国の薬学部に入學するために高校卒業後、2年間、他大学に行き卒業した人もいれば、4年間、他大学の他学部を卒業した人もいるため、薬学部に入學した時の年齢は幅広い。韓国の薬学部に入學後は、韓国で薬剤師になるために、4年間で薬学に対しての専門的な知識を身に付けることになる専門的な知識を身に付け、薬剤師の試験に合格することによって韓国で薬剤師として働くことができるのである。

これらのことより、日本と韓国では薬学教育の

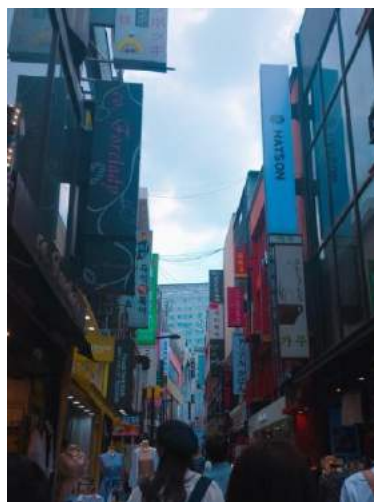
違いがあることが、今回の韓国研修によって分かった。



～東国大学の薬学部棟～

《明洞：ミョンドン》

韓国研修にて宿泊したホテルは明洞にあり、ホテルから出るとすぐに繁華街となる位置にあった。そのため、夕食後の自由時間は今回の韓国研修に参加したメンバーと繁華街に行き、ショッピングをしたり、屋台の食べ物を食べたりした。



～明洞の街並み～

《仁寺洞：インサドン》

韓国研修の3日目に訪れた漢方市場・漢方博物館の見学後に、地下鉄を利用して、仁寺洞に移動した。仁寺洞に移動してからは、文化体験やショッピングなどをした。

韓国研修3日目は、とても暑い日であった。そのため、仁寺洞にてかき氷をみんなで食べ、ひと時ではあったが、暑さを忘れることができた。



～仁寺洞で食べたかき氷～

仁寺洞では、韓国の伝統衣装である「チマチョゴリ」を着ようと計画していた。そのため、チマチョゴリを試着できるお店を訪ねたが、チマチョゴリを試着することができる時間帯が終了していたため、今回の韓国研修では、韓国の伝統衣装である「チマチョゴリ」を着ることができなかった。しかし、仁寺洞では、伝統的な物を購入したり、独特な建造物を見ることができた。



～独特な建造物～

《感想》

今年度、開催された韓国研修に参加させていただき、日本では体験することができない韓国の病院などの施設見学や文化体験などを行うことができ、良い思い出となった。また、2018年2月に開催されたアメリカ研修にも参加させていただいたことによって、日本・韓国・アメリカの3か国の薬学教育や病院などの施設の違いを海外研修にて知ることができ、私にとって貴重な経験や体験をすることができた。さまざまな国での海外研修で学んだことをこれからの勉強などに役立てていきたいと思っている。

今年度開催の韓国研修が成功するために長い時間をかけて準備をしていただいた方々には、感謝しております。

ありがとうございました。